

# HUB-IBARAKI ART PROJECT 2024

HUB-IBARAKI ART PROJECT DIRECTOR  
ディレクター 内田千恵 Chie Uchida

「HUB-IBARAKI ART PROJECT 2024」では、滋賀県在住の美術家、井上唯を招聘し、茨木市の山間部や自然循環に関わる事象に焦点を当て、春から冬にかけて共にリサーチ活動を展開してきました。井上は、時間の流れと共に少しずつ姿を変えてきたこの土地で、かつてここに存在したものの、大切に育まれたもの、いつの間にか失われたもの、そして、誰もが忘れてしまった記憶に出会い、向き合ってきました。

リサーチを進める中で、豊かな自然が残る山間部の風景の中にも、突如開発途中の土地や幹線道路、高速道路、ダムの姿が混在し、複雑な風景が広がっていることに気づかされます。世界でも見られる都市の発展と自然環境の共存は可能なのかー。どのようにわたしたちに影響を与えているかを目の当たりにし、井上は「循環」という言葉の意味や、その背後に潜む課題や矛盾に気づき始めました。こうした現実と向き合う中で、彼女にとってこの地から、どのように思いをめぐらせ、どのように表現するのが、このプロジェクトの根幹となっています。今回の展覧会では、茨木の自然と地域の方々から受け継いだ素材から生まれた作品を発表するほか、ワークショップや関連イベントを通して、彼女が見出した「循環」についての問いを参加者と共有し、対話する場とします。井上が茨木の地で感じたもの、発見したもの、そして問いかけたものが、訪れる皆様にとって新たな視座となることを願っています。

## STATEMENT

HUB-IBARAKI ART PROJECT ARTIST  
招聘作家 井上唯 Yui Inoue

表土に葛が覆い残る数百万年前の大阪層群の土 ある人が木を植え続け、その想いで開発をまぬがれた椿山 閉じられた名水の井戸  
山からニョッキと生えているかの高速道路 削られた山の礫の青緑色に水溜りを見た人が泣いた山の涙  
採石場で作られた美しい角を持つな産鹿の、ダイケミックに走り去った真黒で毛むくじゃらの大きな獣犬 身体が重くが空気を吸った土の匂い  
作られ続ける造成地のフェンス脇に生えるヨウシュヤマゴボウ 無機物を溶かす高性能な溶融炉  
雨乞い信仰が行われていた神社の境台で見つけた竜の角みないな大きな折れ枝 川の合流地点でひとりせせと石を動かしているというおじさん

Kudzu covered the surface soil of the Osaka Group, dating back millions of years. Tsubakiyama, a forest preserved from development by the quiet perseverance of someone who planted trees over time. A sealed well of famous spring water. A highway is thrusting upward from the mountain as if it had grown there. Gazing at the teal-colored puddle at the foot of the excavated mountain, someone murmured, "The mountain's tears." A majestic stag with magnificent antlers was encountered at the quarry, and a large, hairy, jet-black beast dashed away with dynamic force. A newly built dam, bending the very gravity of the body. Pokeweed was stirring beside the restless fences of land under construction. A furnace so advanced it melts even the inorganic. A dragon-horn-like branch found at a rain-praying shrine. An old man diligently moving stones at the confluence of rivers.

種のように散らばった出来事に出会いながら、人間が土地に手を入れることで植生や地形、そして風景が変わり続けてきたことが見えてきました。清い水の湧くところに住み着き、田んぼのために溜池を掘りつつその土を盛って古墳を作った逸話は、造成や開発の始まりを想像させるし、土を焼くことは、“土に還らない”モノづくりの始まりを想起させます。そして、少しずつ私たちの身体感覚から離れた規模や速度へと発展し、循環しないモノや仕組みが当たり前になっていきました。

Scattered like seeds, these encounters reveal how human hands have shaped the land, altering its vegetation, its terrain, and the ever-shifting tapestry of its landscapes. The tale of people settling near fresh springs, digging ponds for rice paddies, and piling up the soil to create mound tombs evokes the origins of land modification and development. The act of firing clay reminds us of the beginning of making things that do not return to the earth. Over time, such practices developed into systems and scales detached from our bodily senses, giving rise to objects and mechanisms that no longer circulate naturally, becoming the norm.

都市化や利便性と引き換えに失ってきたこと、まだ残っているもの。私たちの見えないところで進行している様々なものごとに目を向け、分からないことや出来ないことにぶつかりながら、それでも気持ちいいと思う方向に向かって模索し、人間が土地に生きるとはどういうことなのかを、この土地を知ることを通じて、立ち止まって考え直す機会にできればと思います。

As we trade urbanization and convenience for what has been lost, we are reminded to reflect on what still remains. This is an opportunity to pause and reconsider what it means for humans to live with the land. By paying attention to the various unseen processes unfolding around us, grappling with what we do not know or cannot do, and continuing to search for a direction that feels good, I hope to explore and reflect on the relationship between humans and the land through a deeper understanding of this place.



Artist Profile  
**井上唯** Yui Inoue

1983年愛知県生まれ、滋賀県在住。2005年愛知教育大学 教育学部 造形文化コース卒業。2007年金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 染織コース修了。近年の展覧会/プロジェクトに、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024 : アケヤマー秋山郷立大赤沢小学校ー」(新潟)、「井上唯 / ITONAMI: 風景に向かって旗をかかげる」ギャラリーノイエ(長野, 2023年)、「北陸工芸の祭典: GO FOR KOGEI 2022 那谷寺(石川)」、「国際芸術祭あいち2022: “ほの国”を知るためのプロジェクト」(愛知, 2021-2022年)、「Soft Territory かかわりのあらい」滋賀県立美術館(2021年)など。

Born in 1983 in Aichi Prefecture, currently living in Shiga Prefecture. Graduated from the Department of Art and Culture at Aichi University of Education in 2005. Completed the Textile Course at the Graduate School of Fine Arts and Crafts, Kanazawa College of Art in 2007.

Photo: YO LO



《ヤマノクチ》2024  
mountains are where it all begins  
Photo: Kikuo Kazuo



《風景に向かって旗をかかげる》2023  
Calling to the Landscape  
Photo: Takahiro Ozawa



《ほの国を知るためのプロジェクト》2022  
Project for Exploring Honokuni



《この土地に生きる》2019  
having roots



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用  
Utilizing 70% post-consumer recycled paper pulp

HUB-IBARAKI ART PROJECT  
2024  
展示期間

招聘作家  
Invited artist  
**井上唯**  
Yui Inoue

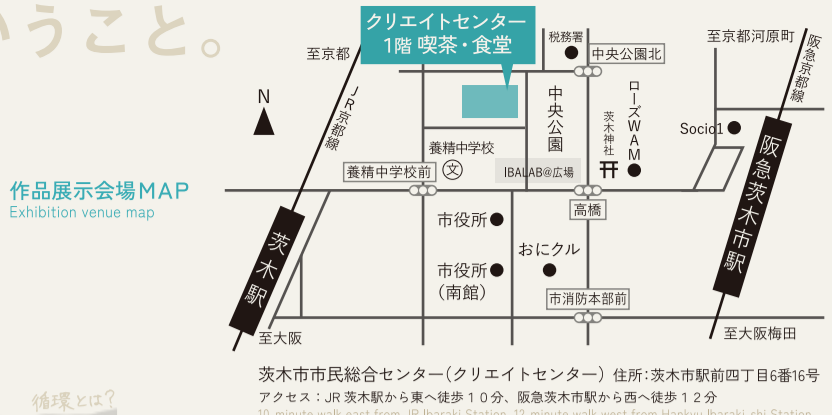
EXHIBITION  
**2/22** sat — **金土日のみの開催** — **3/15** sat  
Dates: Sat. February 22, 2025 – Sat. March 15, 2025  
時間: 12:00–18:00 ※2/24(月・休)は開催 ※最終日3/15は15:00で終了  
会場: 茨木市市民総合センター(クラエイトセンター)1階喫茶・食堂  
入場: 無料  
Open Days: Fridays, Saturdays, and Sundays only. Also open on Monday, February 24, a public holiday.  
Hours: 12:00 PM – 6:00 PM (Closes at 3:00 PM on the final day, March 15). Admission: Free.  
Venue: Ibaraki Create Center, 1st Floor Café & Dining Area (Workshop venue differs)

SPECIAL PROGRAM  
**3/16** sun  
On Sun, March 16, "Tondo-yak" ceremony will be held, where the artwork will be burned and returned to the earth.  
時間: 15:00 —  
会場: 新地の南側(茨木市宿久庄4丁目)  
参加: 無料(申込不要)

展示終了後  
作品を燃やし、土に還す  
「とんど焼き」を開催します。  
Circulation: Soil and Water. Human Impact and Development. Living with the Land.  
**循環とは? 土と水。人と開発。土地に生きるといふこと。**

# 循環とは？ 土と水。人と開発。土地に生きるということ。

雨の竜巻、死に急ぐカマ、手仕事、山、ダム、コンクリート、便利さ、溶融炉、子ども、未来のことを考える、信州、川、丹、滝、山、の、森、土、工、器、音、速、道、路、近、交、通、に、あ、る、こ、の、強、み、開、発、都、市、化、都、市、の、不、自、由、さ、植、生、/、地、形、が、変、わ、っ、て、い、く、<、風、景、>、が、変、わ、っ、て、い、く、こ、と、身、体、の、ス、ピ、ド、と、ス、ケ、ール、SPEED & SCALE、HUB、で、あ、る、こ、と、人、が、土、地、に、生、き、る、と、い、う、こ、と、世、代、を、越、え、て、繋、が、れ、て、い、く、循、環、と、は？



# 循環とは Circulation

## 茨木の調査・視察 RESEARCH MAP

2024年春から冬にかけて、市内各所にてリサーチを重ねてきました。この過程で様々な場所や地域の方と出会い、12月からは皆さまの協力を得ながら、発表に向けた制作がスタートしています。

### 5月

Research and activities

- 茨木市役所
- 茨木市立文化財資料館
- 太田茶臼山古墳(継体天皇陵)
- 太田神社
- 鼻摺古墳(耳原方形墳)
- 耳原公園
- キリシタン遺物史料館、クルス山
- 清阪terrace
- 千提寺farm
- にんげん小屋
- 追手門学院大学社会学部
- 椿山延寿林
- 千提寺展望台
- 宝池寺、竜王山

### 7月

Research and activities

- 青少年野外活動センター
- 安威川上流漁業共同組合
- 権内水路
- 炭焼き小屋、ゴンゴンファクトリー
- 大岩自治会館
- 里山センター
- 循環葬 RETURN TO NATURE(能勢町)
- アグリファーム佐保
- 免山篤家住宅
- 佐保川
- ダムパークいばきた

### 11月

Research and activities

- 中尾酒造
- 伯光神社
- 蛍の放流
- くさあそび工房
- 大阪湾広域臨海環境整備センター本社
- HUB-CAFE (トーク)
- 里山センター
- 疣水磯良神社、新屋坐天照御魂神社

### 8月

Research and activities

- 環境衛生センター
- 総持寺
- 桑原紡績所跡
- 見山の郷
- アグリファーム佐保/南谷さん畑
- 安威古墳群
- 阿為神社
- 中央図書館
- 安威川、茨木川

### 12月

Research and activities

- 豊川地区
- 制作開始
- 大岩で竹刈り
- 椿山の出荷
- 松沢池

### 9月

Research and activities

- 椿山延寿林
- NPO法人北摂やままち倶楽部
- 高槻市立今城塚古代歴史館、今城塚古墳、ハニワ工場館(高槻市)
- 川端康成文学館

### 1月

Research and activities

- 椿山での野草茶会・草木染め
- 大阪湾フェニックスセンター

### 10月

Research and activities

- 原の今昔展(高槻市)
- 清溪地区運動会(清溪小学校)
- 大岩いも堀園
- 大阪砕石工業所 茨木工場
- 茨木高等学校プール
- アトリエ信
- 大岩まつり
- 茨木神社、黒井の清水大茶会
- 酒米の田んぼ、長谷の棚田

### 2月

Workshop

- 茨木の土と草木で作る土器ワークショップ:作る編
- 場所:豊川いのち・愛・ゆめセンター 分館 工芸室
- 講師:中村信彦(陶芸家)
- 共催:豊川いのち・愛・ゆめセンター
- 後援:豊川地区まちづくり協議会

### 3月

Research and activities

- 山と風景に学ぶ:山歩きと野草茶会(健脚向き)
- 日時:3月8日(土) 14:40 - 16:00
- 場所:千提寺 展望台周辺
- 【集合】14:30 清溪公民館実習室(泉原バス停前すぐ)
- 参加費:無料 ※要申込(定員10名)
- 講師:高田みちよ(高槻市立自然博物館あくびアドバイザー)

## 関連プログラム RELATED PROGRAMS

\*Please note that the workshops and events will be conducted in Japanese only.

### 2月 February

#### A 茨木の土と草木で作る土器ワークショップ:窯焼き編

日時:2月8日(土) - 2月10日(月)

- ①2/8(土) 13:00-15:00 窯作り ※要申込
- ②2/9(日) 6:00-20:00 火入れ
- ③2/10(月) 10:00-12:00 窯出し
- ※② ③は自由参加・出入り自由

場所:新池の南側(茨木市宿久庄4丁目)

参加費:無料

講師:田村早織(陶芸家)

後援:豊川地区まちづくり協議会

協力:鳥羽自治会、鳥羽とんど焼き保存会

### B 井上唯 アーティストトーク

日時:2月23日(日) 14:00 -

場所:クリエイトセンター 204室

参加費:無料 ※要申込

### C 茨木を味わう、野草茶会

日時:2月24日(月・休) 13:00 - 14:30

場所:IBALAB@広場

参加費:無料

### 3月 March

#### D 竹の水道管に水を流してみる!

日時:3月2日(日) 随時

場所:展示会会場内(クリエイトセンター1階 喫茶・食堂)

参加費:無料

### E 山と風景に学ぶ:山歩きと野草茶会(健脚向き)

日時:3月8日(土) 14:40 - 16:00

場所:千提寺 展望台周辺

【集合】14:30 清溪公民館実習室(泉原バス停前すぐ)

参加費:無料 ※要申込(定員10名)

講師:高田みちよ(高槻市立自然博物館あくびアドバイザー)

### F 蛍を呼ぶ「篝(ぼうえき)」づくりワークショップ

日時:3月9日(日) 14:00 - 15:00

場所:クリエイトセンター3階 工芸創作室

参加費:無料 ※要申込(定員10名) 対象:小学生以上、親子での参加歓迎

講師:衣笠末男(わいず倶楽部ホテルプロジェクト)

### G とんど焼き:土に還す営み

日時:3月16日(日) 15:00 -

場所:新池の南側(茨木市宿久庄4丁目)

参加費:無料

後援:豊川地区まちづくり協議会

協力:鳥羽自治会、鳥羽とんど焼き保存会

\*詳細・申し込みに関しては、QRコードをご覧ください。

**お問合せ**

公益財団法人茨木市文化振興財団

HUB IBARAKI ART PROJECT

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号 TEL: 072-625-3055 (10時-17時)

info@hub-ibaraki-art.com

https://hub-ibaraki-art.com/

「HUB-IBARAKI ART PROJECT 2024サポーター募集中」3月まで随時募集中

作品制作や搬入搬出、会期中にお手伝いいただけるボランティアの方を募集しています。

募集概要 ▶

主催 | 公益財団法人茨木市文化振興財団  
Organizer | Ibaraki City Cultural Foundation

ディレクター | 内田 千恵 Chie Uchida  
アドバイザー | 雨森 信 Nov Amenomori

デザイン | 本村 信裕 Nobuhiro Motomura [STUDIO GIGI]

協力  
安威川上流漁業共同組合、アグリファーム佐保、市原野町自治会(滋賀県)、茨木市環境衛生センター、疣水磯良神社、追手門学院大学、里山センター、椿山延寿林、鳥羽自治会、鳥羽とんど焼き保存会、豊川地区まちづくり協議会、NPO法人北摂やままち倶楽部、ibabun手芸部、サポーターのみなさま

航空写真・地図院データ(写真)を加工して作成